いわき民報

發行所 平市田町48 電381.176 いわき民報社 編集兼印刷發行人 田原登

小額月賦販賣
ツガミミシン
ミートミシン
コクサイミシン
代理店 鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

リコール成立か 四千五百の署名獲得

小名濱町の四町議のリコールは革新民主同盟事務所内にリコール對策本部を設け去る三十日午後から有權者のリコール署名運動を行つているが同本部の話によると三日夜までに四千五百名の署名が得られたとありここにリコールは成立することになつた

小名濱町の有權者數は一萬二千六百九十名で三分の一に當る四千二百三十名の署名があればリコールが成立することになつている、對策本部の話では署名したものの中には相當の無効（有權者でないもの署名取消を申出るもの）があるものと見られるので八千名以上の署名をとると云つている

なおリコール署名が終れば選擧監理委員會ではリコールの可否を決める投票を一カ月以内に行うことになつている

共募金の運動展開

廿一區も好成績

△平市内の共同募金は着々成績をあげているが三日第二十一區では割當一万二千五百九十八円に對し一四三%の一万八千五十円の好成績で完遂三番目となつた

一中の活躍

三日の街頭募金は平一中の生徒さんが市內三ヵ所で街ゆく人々に呼びかけてこの日一日で二万五百十九円五錢に達した

各校の實施日

平市中、高校生徒の街頭募金運動は三日平第一中の女生徒三十名の活躍を皮切りに驛前金座、銀座、兩通りや本町通りの街角にメガホンや募金箱をさげ道行く人毎に熱心によびかけているが、各校の實施豫定日は次の通りである

四日第二中、五日平商高、六日平工高、七日磐女高、八日千草洋裁學院、十日第一中、十一日第二中、十二日平商高、十三日平工高、十四日磐女高、十五日千草學院、十六日磐高校

貯蓄組合の設立を要望

石城地方事務所では本年度の貯蓄運動要綱に基き管下町村婦人會の貯蓄組合結成の運動を勸奬して來たが九月末現在の成績は次の如くきわめて低調であるので未設町村の婦人會に呼びかけ貯蓄組合の結成を要望している

△組合數（組合人員數）貯蓄月額豫定の順△泉、一二（七九五）三、五〇〇円△錦、二五（九三〇）二五、五〇〇△勿來、一九（五〇〇）一、九〇〇△飯野、七（一〇〇）五、二三〇△小名濱、三三（三四一）一〇〇〇〇△內郷、一五（七〇九）三五、〇〇〇△好間、一（二二）三六〇△草野、二四（三八二）五、三三〇△計、一三六（三、八一九）八六、八〇〇

大工道具盗難

二日夜平市磐宜町の煉瓦工場跡工事場に怪漢が忍び込み同所に置いてあった平市大町大工大友武雄さん（三四）內郷町大字高坂同庄司繁男さん（二七）平市磐宜町同千葉昌良さん（二四）所有の大工道具時價一万四千円相當を更に草野村大字泉崎大工清野誠さん（二六）所有の半ズボン、手拭、と石等時價五百円相當を竊取された、屆けに依り平市署で取調べ中

醉漢四名で暴行 三名負傷全員を逮捕

栃木縣上都賀郡永野村鑛石採取業安齋吉（二七）內郷町大字綴字町ノ內無職遠起濟（二九）同町字堀坂無職雀左榮（二八）同啓辯弘（三一）の四名は三日午後六時頃飲酒泥醉の上磐崎村大字永倉飲食店大久保文太郎さん方前の道路上で折柄通行中の內郷町大字綴字七反田採炭夫佐藤正雄さん（三四）磐崎村大字永倉採炭夫山崎哲さん（四五）同東海林光雄さん（二四）の三名に對し下駄や棒切れで暴行を加え山崎さんに全治一カ月、佐藤さんに全治十日間の重傷をまた山崎さんに輕傷を與え更に報せに依り現場に赴いた磐崎駐在所勤務の角田巡査の制止も聞かず不穩の形勢が見えたので平地區署から機動班が出動同七時頃全員を逮捕した原因その他に關しては目下取調べ中であるが全員共泥醉していた上のことで覺えていないと言葉を濁している

團体交渉は平和的に 炭勞支部の鬪爭方針

炭勞東部支部第七回臨時大會は三日午前九時半から市勞働會館に各山代議員百四十三名（定員二百六十一名）參集議長に渡邊兼太郎（炭運）氏が推され、全國大會狀況報告後新賃金斗爭方針、規約改正、斗爭資金、その他に就き協議次の通り決定した

◇新賃金要求は抗內五五七円、抗外三百円（共税込）退手は一人六百円との中央要求案に決め、團体交渉は出來る限り平和的に短期間とし、もし連盟に不信な態度があれば實力行使の擧にも出る、各社各山を拘束出來る統一賃金を締結し經理斗爭の方向をとる、協定成立までは四―六月賃金を延長する

◇規約の改正は新組合法に基き第六條に『支部組織を法人とする』と入れる

◇斗爭資金は本部の還元金として十万二千円、それに十月一杯まで組合員一人當り五円を徵集十五万円を用意する

なお全國大會に支部の態度を反影せねばならぬ世界勞連か新世界連加入かへの態度決定は困難の爲各山で檢討の上その空氣を中央委員一任とさせる

各界代表者を網羅 保健所運營協議會 來る十五日公會堂で發會式

保健所の民主的運營と公衆衛生の高揚を計る爲今度新しく平保健所に設置された平保健所運營協議會の發會式は十五日午前十時から公會堂日本間に開催する委員に選定された平市長、石城地方事務所長石城町村長會長、平市自治、地區兩署長、平勞基署長、縣會議員全部、平保健所關係團体代表、助產婦看護婦會長、料理屋飲食店組合長、旅館組合代表、市町村學校代表、工場代表、婦人團体代表、市町村衛生主任理容師代表、公衆浴場代表、赤十字代表、按摩、はりきゆう代表者など公益を代表とした學識經驗者などを網羅した委員約三十名が集り會長副會長の役員選擧を行い引續き運營協議會の說明會を行う事になつている、なお運營委員會の役目は保健所法に基く保健所業務の民主的運營保健所と地方關係機關との連絡調整、衛生思想の普及徹底や公衆衛生の向上など保健所に關する事業などに同一歩調を取り公衆衛生の昂揚を計ることになつており今後の活躍を各方面から期待されている

江名に不發擲彈漂着

三日午後四時頃江名町大字永崎字大平地內海岸に直徑十五センチ、長さ五十センチ、重さ五十キロの不發りう彈が漂着しているのを部落民が發見江名町署に屆出たので同署ではこれを保管警戒に當つている

民報論壇 不可解な寄附募集

野澤武藏

平市當局が二千万円を超える莫大な工費を投じて素晴らしい市廳舍を建てている。或る意味では市民も他に誇り得るものであるが、年度僅か五千万円か六千万円の豫算より賄えない平市にとつて、二千万円という數字の廳舍を建てることには相當異論があることと思う。然もこの工費は浮動性のある入場税に依存し、その上安定性の缺けている寄附金を六百万円も求めている點危險極まる財政計畫であつた。

吾等は當初から鈴木市政の斯る放慢無智な財政方針に警告を發していたのであるが、果してシャウプ勸告案に依つて入場税や遊興飲食税など、浮動性の財源は縣に移管されることになりこの他酒の消費税百万円、不動產取得税（建築税）三百万円、目的税（都市計畫）四百五十万円など廢止される運命に置かれ、明年度の豫算をどう辻褄を合わせるのか、吾等市民は默視出來ない實情にある。放慢財政の尻ぬぐいにはおそらく財產の賣り拂いと成つて現われ、市の財政を素裸にして尚且つ市民のふところからしぼり出させるのが關の山であろう。

更に不可解なのは、シャウプ使節の勸告に依つて公市町村の公營事業に對する寄附行爲は嚴に戒められているに拘らず、これを頬かむりして、去る一日、民生委員と市の連絡委員を一堂に集め、酒肴を供して御馳走しながら各町內別の寄附金募集を要望したということである、例の問題となつている一日一円寄附貯金（豫定二百五十万円）は反對多く思うに任せず、大口特別寄附金募集もシャウプ勸告に依つて市議諸公がゾロ〳〵列を爲して歩き廻ることを憚ることになつた爲、市當局も苦しまぎれの窮余の策であろうが、貧困者の救濟とか、困窮者の民間相談相手である民生委員を動かし、市から手當てを貰つている準吏員の連絡員を動員しての寄附募集は、明らかに違法行爲と斷ぜざるを得ないのである。

寄附行爲は飽くまでそれ〳〵の自由意志でなければならない市會議員諸公の大口寄附募集でも『あなたの家は一万円出してくれ』とか『あそこはいくらだからあなたの家はいくらだ』などと割當てがあつたと不平の聲が非常に多かつたが、今度の連絡員は市の準吏員であり、いくら強制でないと辯護しても、本質的には市税の取立てと少しも變りがないのである。斯る意味に於て吾等は市當局の税金二重取りのような寄附募集には斷乎反對を表明し、市當局に對して建全財政の組直しを要望するものである

平市五丁目
（久）釜屋商店
電九・九九・九九九

内郷宮小學校で 子供郵便局開始

かねて子供郵便局の設置を計畫中であつた內郷町宮小學校では去る九月廿九日荒宮郵便局長以下局員指導の許に愈々事務を開始した、加入人員は高學年四百余名で當日だけで四千余円の貯蓄を見た、主任の中島先生を中心に兒童からは矢部局長以下十六名の局員も任命され將來は千四百余の全兒童を加入せしむる方針で父兄からも大に期待されている

第二、三中校 地鎭祭擧行 來る六日

平市第二、第三中學校舍は建設敷地も地元の勤勞奉仕により近く完成、愈々建築に着手することになりこれが地鎭祭を來る六日（十時から二中）（午後二時から三中）擧行する

小川組優勝 庭球選手權大會

二日若松市會津女高コートで擧行された第二十六回縣下男子庭球選手權大會に平クラブから小川、鴻池組、鈴木、篠原組の二組が出場したが九十數組に及ぶ縣下強豪チームを弾り去つて準決勝に勝ち殘り決勝は地元チームだけで熱戰を展開結局小川、鴻池組が優勝した、戰績次の通り

△準決勝

鈴木 篠原 4―1 林 林 若松

小川 鴻池 4―1 大伍 石崎 福島OB

△決勝

小川 鴻池 4―2 鈴木 篠原

平クが優勝 拳鬪大會

二日午後二時から平市磐宜町廣場で行われた平体育拳鬪倶樂部對小名濱体育倶樂部の拳鬪對抗試合は平4―3小名濱で平倶樂部が優勝した

盗難頻々

▽平市字古堂一九農鈴木義重（五六）さん方では三十日夜畠から甘藷二十貫（千円相當）盗まれた

▽平市上平窪字眞根井四〇六農八島木靜枝（三二）さん方では一日午後五時半ころ市內三丁目仲屋洋服店前路上でリヤカーの上に乘せたカラ箱の中の財布（在中三千円）衣料切符、綜合通帳等四千円相當ぬすまれた

▽平市一丁目一五古物商鈴木勘治（三三）さん方では二日午後八時ころ不在中新品自轉車一萬三千円相當を盗まれた

天氣予報 四日

【今晩】北寄りの風弱く大体晴天、次第に薄曇

【明日】北乃至北東の風弱く夕は曇り勝ち日中は時々晴間もあるが天氣は下り坂、海上は二、三日おだやか

衣料統制違反

東京都墨田區向島三丁目古物商安齋定次（三二）は去月二十八日平市南町片寄半次郎さんの古物衣類交換會場で統制品キャラコ婦人用パンツ三點ほか四十四點を所持し臨時物資需給調整法（衣料品配給規則並びに衣料切符規則）違反で三日平市署から送檢

三浦洋裁卒業生作品展 八、九兩日

平市仲町三浦洋裁女學院の卒業生作品展示會は八、九日の兩日公會堂日本間に開催

同窓會員に告ぐ！
秋の服裝展示會及 第二回同窓會
（一般の皆様も御參觀下さい）
認公 三浦洋裁女學院
平市仲町一番地電九〇七番
日時 十月八日…九時より四時まで 九日…十一時より四時まで
場所 平市公會堂日本間 午前中同窓會

中古衣類、ズボン類
高價買入廉價販賣
御相談に應じます
小名濱町古湊
小野衣類店

春陽堂の大廉價版
現代長篇小說全集
全13卷各130円自由分賣
第一回 舟橋聖一著
夢よもういちど・木石
えん脂のみち・滿月
（友）マルトモ書店

新發賣 1瓶100円
ライトグローリアスインキ

文房具 書籍雜誌 度量衡
播摩小路 （文）魁文堂 電三一三

銘酒ホール開設
生ビールで御好評を頂きましたが此度銘酒ホールを開設、釀造元より生詰の生一本を安く愛飲して頂きます何卒御待ちして居ります
平驛前 銘酒ホール 平華
酒は 銘酒 鶴仙 松吉屋酒造場

（公）專門の靴店

男子短靴	特級	2.130円
同	1級	1.529円
同	2級	1.236円
婦人靴特級（中ヒール）		1.821円
同	1級	1.313円
子供靴（6.7.8才用）		868円
同（3.4.5才用）		590円

◇修理ハ格安敏速ニ致シマス
平三 菊一靴店 電446番

水産版

早くもバイヤーから一手引受の注文
有望な水試のサメ肝油

縣水産試驗場では小名濱水産高校山村教官が三年に亘つて研究したサメ油から高單位な肝油を抽出することに成功した試驗結果に基きこれを企業化すべく乗出したがこれと同時に通産省並にバイヤーから融資の斡旋や製品の一手販賣などの申入れが舞込み安達場長や製造主任の瀧内技師を喜ばせている

五十万圓で試驗設備 一月から操業開始豫定

この肝油製造の企業化は今までドラム罐一本二千三百円位で賣買されていたサメ油を藥品原料として扱うため三倍强の八千円台までつり出げることと豐富なビタミンA資源の確保並に同製品は八万單位期とも密接な關係があるので一月以降に着手する方針にしたもの

この縣水試の企業化に對し福島市巴産業から資金など全面的に協力する、また江名町日本漁業からは試驗結果を急速に返答して呉れと來ているほか東京のバイヤーであるローヤル水産會社から製品を一手に引受けると申入れがあり本縣出身の通産省のビタミンの權威福島技師からは『この企業化が完成すれば相當融資することを約束する』と激勵して來ている

鹽サンマ入荷 平市にも鹽藏サンマが千貫平均に入荷しているが賣行順調

完成まで大いに頑張る 瀧内技師談

專任の瀧内技師は語る

これからの加工業の行方について相當の示唆を與える仕事であるから完成するまで頑張つて見る考えです、量より質の時代に備えて藥品の製造面にも開拓の余地はまだあると思います、カジキとか油ガレイなどの肝臓を利用して十五万單位の肝油を作るとすればドラム罐一本の價格でざつと百五十万円もすると云う狀態ですからこうした點にも着眼して開拓分野を求めて行くべきでしよう

今後の水産
吉屋貞一

將來の水産業は科學的に再整備する覺悟が必要であると思う。陸の耕地にも比すべき海洋の研究を深め、魚貝の學問を基礎として魚船、魚具、加工などの面に創意と工夫をこらしこれを綜合して發展させるため業界の自力調査をも進歩させなければならぬ。それには各濱が視野を擴大して互に連絡を密接に行い、相携えて水産日本を更に世界に具現させて欲しいものである。例えば今回の漁區擴張の如きも朗報には相違ないけれど、其實績を收める考察も充分に協議さるべきであろう。今回濱通りの新聞である。いわき民報に水産版が開始されたことは眞に時宜を得たものと信じ祝意を表すると共にニュースに限らず、その改良進歩にヒントを與える資料參考書にまで漕ぎ付けてもらいたい。

今週の潮

	滿潮		干潮	
四日	（一、三〇分）	（一四、五五分）	（九、〇〇分）	（二一、二〇分）
五日	（二、三五分）	（一五、三〇分）	（九、三五分）	（二二、〇〇分）
六日	（三、一五分）	（一五、四〇分）	（一〇、〇〇分）	（二二、一〇分）
七日	（三、五五分）	（一五、五〇分）	（一〇、一〇分）	（二二、四〇分）
八日	（四、二〇分）	（一六、〇〇分）	（一〇、三五分）	（二三、〇〇分）
九日	（五、一五分）	（一六、四〇分）	（一一、一五分）	（二三、四〇分）
十日	（五、五〇分）	（一六、四五分）	（一一、三五分）	
十一日	（六、三五分）	（一七、〇〇分）	（〇、一〇分）	（一一、五五分）

鮮魚の統制一部撤廢
燒竹輪など百四品種

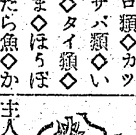
十七日から鮮魚の一部統制が撤廢になる＝縣水産事務所の話によると今度の配給規則の一部改正で次の十六種類五十三品目を除き百四品目は大幅に縮減したがこれと併行して加工水産物もイワシ、イカ、ニシン、食糧魚粉の四品目を除いては燒竹輪など大幅に撤廢した

【統制を繼存するもの】◇ブリ類◇マグロ類◇カツオ類◇アヂ類◇サバ類◇いわし類◇ニシン◇タイ類◇めぬけ類◇さんま◇ほうぼうかながしら◇たら魚◇かれい類◇ひらめ◇もおかざめ

【撤廢されたもので本縣に關係あるもの】さけ、ますはも、くろだい、まだこ、ぼら、あいなめ、とび魚、ひいら、あなご、したびらめ、あぶらざめ、えい類、水だこ、まだら、おけそう、たら、ほつけ、きちぢ

馬杉次長辭任
協組參事に就任

縣水産事務所次長馬杉欣一氏はこの程依願退職の發令があり辭任した、後任は未定、馬杉氏は同水産事務所創設以來の次長で今回江名町機船底曳網漁業協同組合參事として就任した



多角的な漁業經營を行つている小名濱町比佐漁業部の主人公町議比佐政種氏は最近テンヤワンヤの騒ぎをして名を賣つている小名濱町會の席上、某社會黨議員（？）が現在の滞納者について業種別に滞納額を示せと發言したのに對し『現在漁業家の苦しいことを知つていながらそのハジをさらさせるならこつちにも考がある』と比佐オヤジがカン／＼に立腹、議場も吹飛ぶような熱烈な反駁に出て相手を沈黙させて仕舞つた……これを傍聽席から見ていた濱ツ子たちは『漁業代表議員健在なり』と氣をよくして胸をせい／＼させていた

サンマ船續々歸港か
月夜に電氣棒受は効なし

△…現在のサンマ漁場は北海道落石崎二十五マイルから百五十マイル迄の沖合に當つているが何せ好漁場を獨占したいためか各船からの無電情報はなくさつぱり漁況不明、然しこの海域に蝟集した電氣棒受船は相當良い見込みであるまた滿月の舊暦十五日に當る六日を中心とした數日間は月光のため集魚燈が利かなくなるのでこの機會を利用し遠く漁場より各母港に續々引揚げて來るのでこの月夜廻りに伴うサンマ船の入港は本縣に相當のサンマを齎らすものとして大いに期待されている

▽…電氣棒受の激増で省令による取締規則が出來、集魚燈の設備は發電機にあつては總容量十キロワット以内、電球は總設備容量一万ワット以内等と制限を加えているがこれと平行して各縣でもサンマぎよ業にそれ／＼制限している卽ち茨城縣では縣内船は從來通りとし縣外船は各縣が茨城縣船の漁業許可をしている隻數の範圍内とする、千葉縣は縣外船十五トから五十トン船以外の入漁を認めない、東京都は操業區域を大島及び新島神津島の各專用漁場以外の海面とする和歌山縣は昨年の範圍内で和歌山、三重兩縣連の上許可統を決める（流網は原則として縣外船は認めない）とあり本縣並に宮城縣では門戸を開放している

▽…今年から『一鹽サンマ』の規格が出來たけれども價格が決らないため生サンマ並の扱いをうけている、消費者側から云えば鹽藏サンマはコリ／＼で一鹽サンマに人氣が集中し六大都市や海無縣の大消費地でも一鹽サンマの出荷を大いに歡迎している、生サンマでは氷が思う樣に使えないので消費に行つても鮮度が落ちて仕舞いまた鹽藏サンマも味が辛すぎて敬遠される形となつたため一鹽サンマが重寳がられている、業者にしても一鹽サンマの價格を一刻も早く決ることを強く望んでいる

九月中さんま皆無
指導船、水難救助で的はずれ

カツオ漁で思うような成績をあげ得なかつた縣指導船共盛丸（百廿八トン）は今度のサンマ漁でも立遅れの形となり先に安達場長が縣へ行つて『初サンマの水揚は指導船がやつて見せる』といつた手前、氣を揉せているが途に解禁以來九月中は一尾のサンマも獲らずにしまつた、その大きな理由は先の指導船運營委員會で『指導船は漁場調査と共に遭難船の救助にも全力をあげる』との業者側の要望に副うことにしていたため縣豫算で動きがとれず乗組員の俸給（歩合）支拂に良い結果を生むためにも是非漁獲を稼ぐ事が第一條件とされている矢先サンマ群を迎えながら遭難救助に沒頭しなければならない狀態にありこの爲すつかり九月中は棒に振つて仕舞つたと水産試驗場側を落膽させているものである、同水試ではこの苦しい指導船の運營について業者は一層の理解をするよう求めている

水産振興に"水産版"
十月から火曜特集發行
本社企畫

本社では今月から毎週一回本欄を利用し火曜特集として『水産版』を設けることになりました、申すまでもなく水産業は石城の二大産業の一つであり特に漁業の盛衰は濱通り經濟の根幹をなすものであつたためその影響力は極めて大きいものがあります、特に三年越しの不漁で惱む漁業の現在から見ても今年こそ再起の年であり漁業者にとつてもつとも大切な時期であります本社がここに『水産版』を贈る所以も水産振興の建前からであります、今後は漁區擴張などの明るい見透しに向つて漁業關係者と共に合理的なハマの建設に邁進するものであります

漁場まで半月
多いビンチヨウとメバチ
中山氏 新漁區を語る

今度の漁區擴張許可で南洋漁業は二千万貫五十億円增の朗報をもたらしたが、果して新漁區とはどんな海だろう―元小名濱水産試驗場に勤め現在日本カツオ、マグロ漁業者協會常務理事でマグロ漁業の權威者である中山たく三氏の語る新漁區の狀況を聞いて見る

海

新漁區は東經百八十度北緯廿四度から四十度にわたる島影一つ見えない太平洋のどまん中、この海の名物はこれから冬にかけて吹く北西の貿易風（季節風）で漁區東端は日附變更線だからシケに會おうものならたちまち地理學上アメリカと同じ日附（日本より前日）の海域に押流され日附が繰り上つてしまう？という世界の涯である

魚

ここで獲れるのは主に輸出向のビンチヨウマグロと國内向のメバテマグロ、イカの群を追つて太平洋回遊しているこのマグロの群が新漁區に來るのはこれから冬にかけてである

マグロはイカを追いイカは浮游生物（プランクトン）を追つてくるので老練な漁船の指揮者（船頭）は船橋からワシのような眼を放ちプランクトンでかすかに色の變つた海面を探し求めるこんな海でも魚群の上には海鳥が群つている

漁船

この海までゆける漁船は百廿トから二百トン級のマグロ船で現在二百廿三隻あり指揮者以下廿五人から卅人が乗組み八十日分ぐらいの食糧を積んで三崎、燒津、東京港を出帆十二三日で漁場につき約一カ月太平洋を飛びまわる、だが漁夫一航海（二カ月）の收入は大漁で八万円シケれば無配當で最低保證の月三、四千円しか貰えない

漁業會社も一航海費が百万円から百五十万円を要するうえに稅だ、修理だ、ということになるので一航海一万貫（公價で三百七十五万円）以上獲らねばソロバンが合わないという

漁ろう

マグロは延繩（ハイナワ）を使つて獲る

これは鉛筆ぐらいの太さの綱で四百メートルごとに徑一尺のガラス玉の浮きがついておりナワについている枝ナワのハリにエサ（イワシ）がつきこれにマグロが食いつく、卷上機で順次船に揚げてゆくときあばれるマグロをそりで突くが新米の漁夫は胴を突いてお目玉を食う値が下るからだ警察もいない海のこと戰後は他人の延繩を揚げてサカナを失敬するセチ辛いものもたまにいるという

祝水産版創設

福島縣水産事務所
所長　松井ひろし
平市才槌小路一九
電話一七五番

小名濱海上保安署
署長　遠山武夫
小名濱町榮町一番地
電話四七五番

福島縣水産試驗場
場長　安達新
小名濱町古湊一九六番地
電話一六番

東北海運局小名濱支局
支局長　今野善久
小名濱町榮町一番地
電話三七六番

福島縣漁船保險組合
組合長　理事　鈴木賢二
副組合長理事　水野政次郎
全　黑川喜一郎
平市才槌小路一九番地
電話一七五番

福島縣水産製品檢査所
所長　松井ひろし
平市才槌小路一九番地
電話一七五番
全　小名濱支所
全　江名支所
全　四倉支所
全　中村支所

農林省福島資材調整事務所
小名濱出張所
所長　菅野健一

農林省福島資材調整事務所
江名出張所
所長　大平雅光

農林省福島資材調整事務所
四倉出張所
所長　松井ひろし